



アーキテクチャ図

AWS でのデータベース DevOps



AWS でのデータベース DevOps: アーキテクチャ図

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

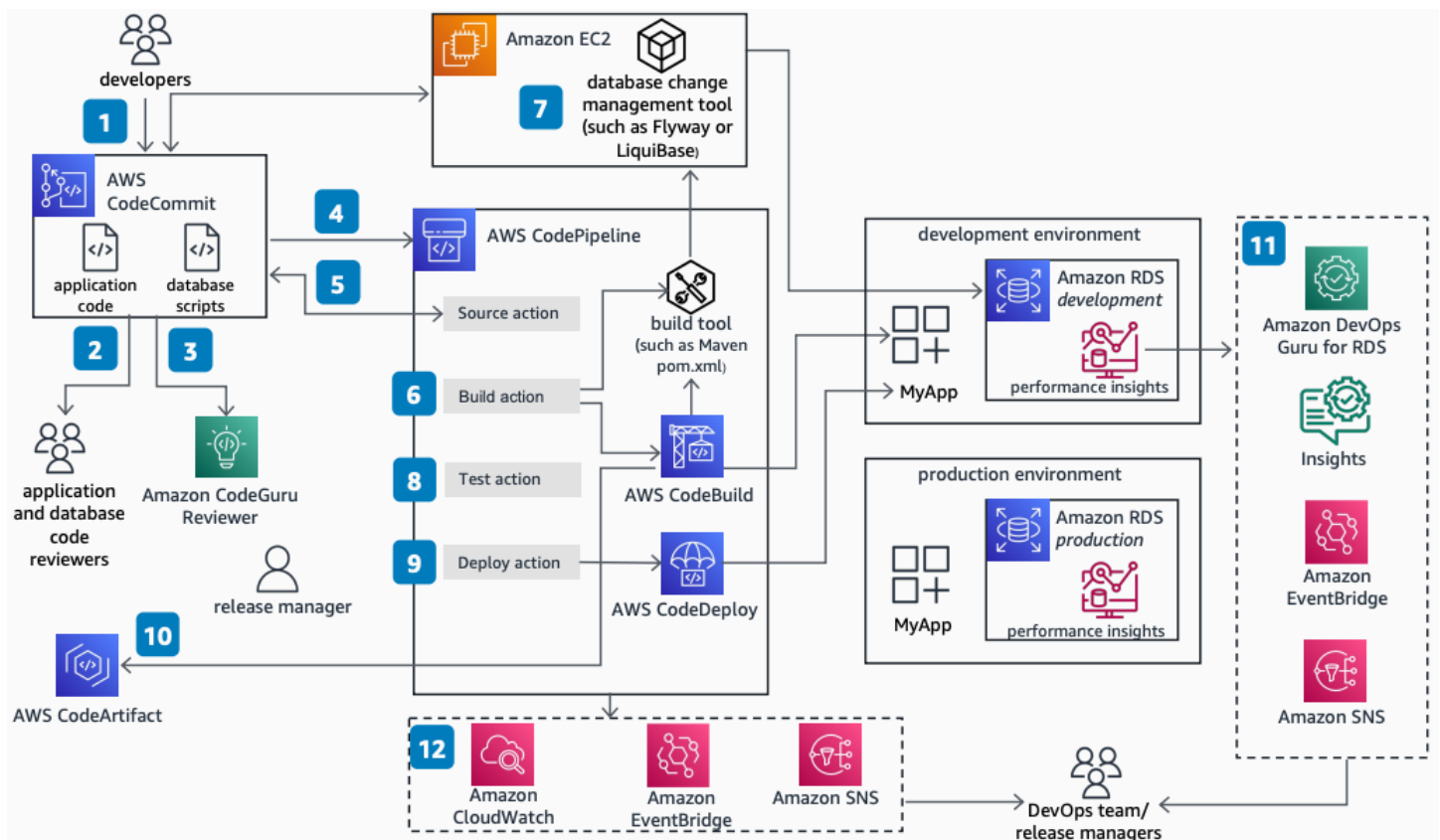
開発ワークフロー	1
AWS でのデータベース DevOps: 開発ワークフロー	1
詳細情報	2
図の履歴	2
本番稼働用ワークフロー	4
AWS でのデータベース DevOps: 本番稼働用ワークフロー	4
.....	vi

AWS でのデータベース DevOps: 開発ワークフロー

公開日: 2023 年 3 月 31 日 ([図の履歴](#))

開発ワークフローでこのアーキテクチャを使用して、DevOps プラクティスの一環としてデータベースの変更を自動化します。オーケストレーションを構築して、アプリケーションコードと同じ速度でデータベースの変更をデプロイし、database-application-jointコードのレビューを実施し、データベースとアプリケーションのコードオペレーションを統合し、異常なシステム動作を検出し、指定されたチームへの通知を自動化します。

AWS でのデータベース DevOps: 開発ワークフロー



次の手順では、アーキテクチャについて説明します。

1. 開発者は、アプリケーションコードとデータベースコードの両方を にチェックします [AWS CodeCommit](#)。
2. プッシュリクエストごとに、 は承認ルールを使用してコードレビュー AWS CodeCommit を適用します。

3. Amazon CodeGuru レビューワーカーは、コードの変更を自動的に評価し、エラーを検出して、コードのレコメンデーションを提供します。
4. AWS CodeCommit は [CodePipeline](#) を開始してパイプラインアクションを実行します。
5. CodePipeline ソースアクションは、アプリケーションとデータベースコードをチェックアウトします。
6. CodePipeline ビルドアクションは、ビルド管理ツールを呼び出して、アプリケーションとデータベースのコードビルドフェーズを開始します。
7. ビルドツールはデータベース変更ツールを呼び出します。データベーススクリプトをダウンロードし、ターゲットデータベースに対して実行します。
8. ビルドツールはデータベーステストスクリプトを呼び出し、出力を検証します。
9. CodePipeline Deploy アクションは、ターゲット環境にコードをデプロイします。
10. ビルドアーティファクトは、他のユーザーが使用できるように [AWS CodeArtifact](#) に発行されます。
11. (オプション) [Amazon RDS](#) で Performance Insights と Amazon DevOps Guru を使用して、ML 手法を自動的に適用し、パフォーマンスのボトルネックと運用上の問題を検出します。
12. [EventBridge](#) はイベントをキャプチャし、ユーザー通知のために [Amazon SNS](#) トピックに送信します。

詳細情報

詳細については、次のリソースを参照してください。

- [AWS アーキテクチャアイコン](#)
- [AWS アーキテクチャセンター](#)
- [AWS Well-Architected](#)

図の履歴

このリファレンスアーキテクチャ図の更新について通知を受け取るには、RSS フィードをサブスクライブします。

変更

説明

日付

[初版発行](#)

リファレンスアーキテクチャ
図が最初に公開されました。

2023 年 3 月 31 日

 Note

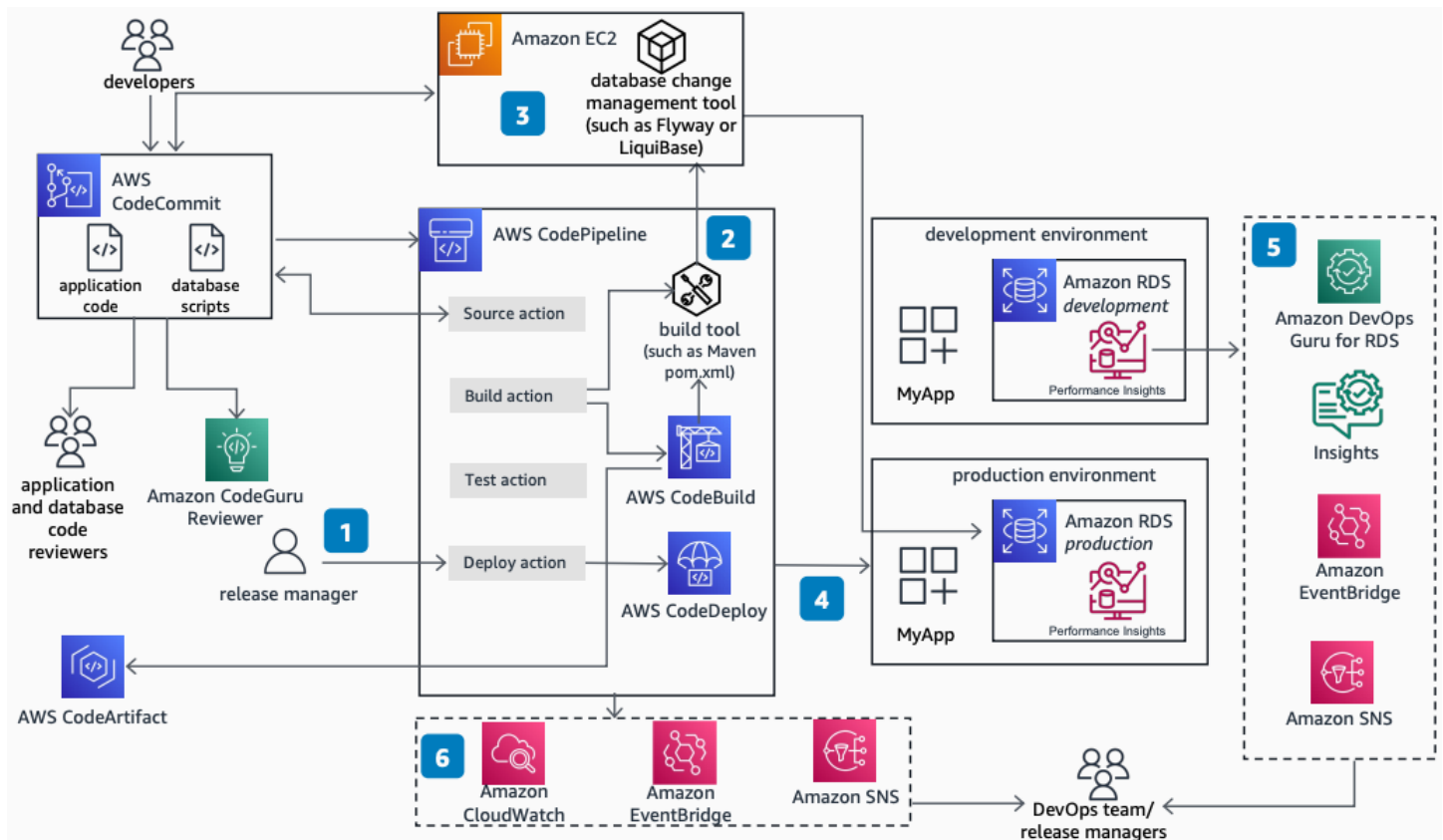
RSS 更新をサブスクライブするには、使用しているブラウザで RSS プラグインが有効になっている必要があります。

AWS でのデータベース DevOps: 本番稼働用ワークフロー

公開日: 2023 年 3 月 31 日 ([図の履歴](#))

本番ワークフローでこのアーキテクチャを使用して、DevOps プラクティスの一環としてデータベースの変更を自動化します。オーケストレーションを構築して、アプリケーションコードと同じ速度でデータベースの変更をデプロイし、異常なシステム動作を検出し、指定されたチームへの通知を自動化して修正アクションを実行します。

AWS でのデータベース DevOps: 本番稼働用ワークフロー



次の手順では、アーキテクチャについて説明します。

1. リリースマネージャーは、本番稼働用デプロイリクエストを発行します。
2. [CodePipeline](#) は、データベース変更管理ツールを呼び出すビルド管理ツールを呼び出します。
3. データベース変更ツールは、データベース変更スクリプトをダウンロードし、ターゲット [Amazon RDS](#) 本番稼働用データベースに対して実行します。
4. CodePipeline は、デプロイアクションを開始して、ターゲット環境にコードをデプロイします。

5. (オプション) Amazon RDS で Performance Insights と Amazon DevOps Guru を使用して、ML 手法を自動的に適用し、パフォーマンスのボトルネックと運用上の問題を検出します。
6. [EventBridge](#) はイベントをキャプチャし、ユーザー通知のために [Amazon SNS](#) トピックに送信します。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。